

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公開番号】特開2000-262292(P2000-262292A)

【公開日】平成12年9月26日(2000.9.26)

【出願番号】特願平11-76432

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
C 12 N	1/15	(2006.01)
C 12 N	1/19	(2006.01)
C 12 N	1/21	(2006.01)
C 12 N	9/26	(2006.01)
D 06 M	16/00	(2006.01)
C 12 N	5/10	(2006.01)
D 06 M	101/06	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	Z N A A
C 12 N	1/15	
C 12 N	1/19	
C 12 N	1/21	
C 12 N	9/26	Z
D 06 M	16/00	Z
C 12 N	5/00	A
D 06 M	101/06	

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月15日(2006.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】配列番号1に示すアミノ酸配列からなるタンパク質、又はこの配列において1もしくは数個のアミノ酸が欠失、置換もしくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつプロトペクチナーゼ活性を有するタンパク質。

【請求項2】シグナルペプチドがさらに付加されてなる請求項1に記載のタンパク質。

【請求項3】配列番号2に示すアミノ酸配列からなるタンパク質、又はこの配列において1もしくは数個のアミノ酸が欠失、置換もしくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつプロトペクチナーゼ活性を有するタンパク質をコードする請求項2に記載のタンパク質。

【請求項4】1)プロトペクチナーゼ活性を有し；2)SDS-ポリアクリルアミドゲル電気泳動ゲル上での分子量が約43,000であり；3)至適pHが8.0であり；4)至適温度が60度であり；かつ5)Cu、Hg、Mn及びZnにより阻害を受ける性質を有する請求項1～3のいずれか1つに記載のタンパク質。

【請求項5】請求項1～4のいずれか1つに記載のタンパク質をコードする遺伝子。

【請求項6】配列番号3に示す配列の塩基番号358～1557で表される塩基配列を有

する請求項 5 に記載の遺伝子。

- 【請求項 7】 請求項 5 又は 6 に記載の遺伝子を含有する組換えベクター。
- 【請求項 8】 請求項 7 に記載の組換えベクターを含む形質転換体。
- 【請求項 9】 形質転換体の宿主が、微生物である請求項 8 に記載の形質転換体。
- 【請求項 10】 請求項 8 又は 9 に記載の形質転換体を用いる請求項 1 に記載のタンパク質の製造方法。
- 【請求項 11】 請求項 8 又は 9 に記載の形質転換体を製造する方法。
- 【請求項 12】 請求項 8 又は 9 に記載の形質転換体を用いるセルロース繊維の精練方法。
- 【請求項 13】 請求項 12 に記載の方法により処理されたセルロース繊維。